

＜アナザーアドレス＞ 大丸松坂屋百貨店のファッションサブスク ファッション・アートの循環型モデル構築を目指して アップサイクルブランド「reADdress」新展開

レンタルが難しくなった衣類をアップサイクルし商品化へ、12月1日(金)より提供開始

大丸松坂屋百貨店が運営するファッションサブスクサービス“アナザーアドレス”は、9月より続いていたリニューアルの集大成として、サーキュラープロジェクトの一環であるブランド「reADdress(リアドレス)」を、2023年12月1日(金)より立ち上げます。本ブランドは、レンタルが難しくなった「衣類」を始めとするアイテムやグループ会社・パルコで処分するはずだった「ハンドルバーなどの設備備品」などに新たな価値を施しアップサイクルした製品を継続的に開発していきます。本取り組みを通して、持続可能な社会の実現に向けてのサーキュラーなビジネスモデル構築を目指します。



＜背景＞

アナザーアドレスは、“Fashion New Life”を事業パーパスに定め、ファッションやアートが持つ人を元気に愉しくする力と社会や環境にとって持続性の高いビジネスモデルへの転換を目指すサービスを提供しています。サービス開始から2年半が経ち、会員数は約50,000人、累計レンタル数は150,000着を超えるお客様にご利用いただきました。多くのお客様に親しまれてきた一方、利用者が増えたことにより、レンタル品のシミや汚れや傷、破れなど、着用できなくなった衣類が増えてまいりました。そのような中、持続可能な未来のために廃棄を出さないことを前提にした経済システム“サーキュラー・エコミー型のファッション・アート”に着目しました。

＜アップサイクルブランド「reADdress」について＞

reADdressは、「レンタルが難しくなった衣類等を生まれ変わらせることで寿命をのばし、もう一度楽しんでいただきたい」という意味を込めて名付けました。商品は、まず下記3つのコンセプトのもと、黒染めの先駆者である株式会社京都紋付やアナザーアドレスで取引のあるデザイナーとの協業により、新たな価値として黒染めやパッチワーク、再構築を施し、この世に一つしかない商品を創り出しています。

- 3つの取り組み宣言 -

1. JAPAN CRAFTSHIP ジャパンクラフトシップ

日本人特有の妥協なきモノづくりへのこだわりが生みだす、職人やクリエイターによる手仕事の素晴らしさへのリスペクトを大切にその継承と発展をともに目指します。

2. TRACEABLE トレーサブル

アップサイクル品の過程と唯一性を大切に、どのような技術が、また職人やデザイナーの誰が手掛け、誰から誰に渡って作られてきたのか、その透明性を伝えることを大切にします。

3. CIRCULABLE サーキュラブル

デザイナーが想いを込めたアイテムの寿命を伸ばし、多くの人にその想いをつなげるよう。「服は使い捨てではない」という信念のもと、仕入れたものを責任を持って循環させます。

<アップサイクル商品について>

① 染色 - 12月1日(金)より提供開始-

100年以上の歴史を誇る株式会社京都紋付との協業により、[深黒染め]を施したアップサイクル商品を実現しました。今回は、主にシミや汚れが目立つ服を黒染め品としてアップサイクルしました。お気に入りの一着をずっと大切にするために、「黒染」によるリウェアという選択肢を届けます。



株式会社京都紋付 概要

1915年、初代荒川金之介が染工場として創業。以来、日本の伝統的な正装である黒紋付だけを染め続け、現在は着物の世界のみならず、黒の第一人者として多くのデザイナーやブランドと取り組み、京黒紋付染の伝統を新しい形で継承しつづけている。また有害物質の不使用や、衣類の染め替え促進を通じ、環境保全にも取り組んでいる。

<http://www.kmontsuki.co.jp/>

② 廃材活用 - 2024年1月下旬より提供開始-

グループ会社であるパルコは、2023年2月に閉店した津田沼PARCOで役目を終えた館内の設備備品やポスターボード、店頭ロゴサインなどを、そのまま廃棄するのではなく、技術やデザインのかでアップサイクルし新しい付加価値を生み出すことを試みる、アップサイクルプロジェクトに2023年9月より取り組んでいます。津田沼PARCOのアップサイクルプロジェクト第3弾となる今回は、アナザーアドレスと共創し、エントランス扉ハンドルバーに新たな価値を施し廃材アートとして生まれ変わりました。2024年新春より、8名の作家に仕上げて頂いた16作品の取り扱いを開始いたします。



PARCO扉ハンドルバーアート

作家一覧

安野谷昌穂/witness/wimp/Aitone/なかおみちお/NAZE/UC EAST/山崎由紀子（順不同）

③ 再構築（リメイク） - 2024年2月中旬より提供予定 -

コンセプトと親和性のあるデザイナーと共創が実現しました。破れや傷のある服をパネル使いやパッチワーク技法を駆使し新たに生まれ変わらせました。このプロジェクトにはアナザーアドレスに参画するデザイナーを中心に取り組みに共感いただく協力者の方々と共に、今後展開する予定となります。



AnotherADdress（アナザーアドレス）とは

270を超える、Maison Margiela, MARNI, Y's, beautiful people, Theory, ADORE といったデザイナーブランドの中から自由に選んでレンタルできる百貨店業界初のファッションサブスクリプションサービス。2023年3月より、ウィメンズ・メンズのどちらにも対応。2023年9月より、現代アート取り扱いを開始し事業を拡大している。

大丸松坂屋百貨店は、アナザーアドレスを通じて、デジタル、サステナブルといった領域に積極的に投資し、新たな体験価値の創出に向けて、今後もスピード感を持って取り組んでまいります。

お問い合わせ先

大丸松坂屋百貨店 広報担当 金子・長野・片川 [E-mail : kouhou@jfr.co.jp](mailto:kouhou@jfr.co.jp)

